

一般質問通告書一覽表

令和8年第4回 南九州市議会定例会

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 上赤 秀人	1 市内３高等学校の存続について (１) 市内の高等学校が存続することは、地域活性化の観点から重要だと考えるが、近年、生徒数が減少している原因と対策を問う。 (２) 高等学校の魅力向上に資するため、学校内の環境整備に対して支援をする考えはないか。 2 市営住宅について (１) 空室が長く続く市営住宅が散見されるが、入居状況と入居者確保の対策を問う。 (２) 市営住宅の公園等の管理が不十分との声を聞くが、環境整備の状況を問う。	市 長・教育長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
2 しい 千恵	1 防災・防衛体制の充実について (1) 高市政権では 2026 年 3 月 31 日、武力攻撃やミサイル落下などに備える避難用「シェルター」の確保に向けた初の基本方針を閣議決定した。2030 年までに全国の市町村で全住民を収容できる人口カバー率 100%を目指す方針であるが、本市の計画を問う。 (2) 新庁舎開庁後、防災行政無線の仕組みに変化があるのか。また、今後の防災行政無線更新計画の詳細を問う。 (3) AI を活用した音声型安否確認システム「シン・オートコール」を導入する考えはないか。 (4) 若い世代の地域リーダー育成のために、防災避難所運営図上訓練（HUG）を学校教育やまちづくりに導入する考えはないか。 2 学生のまちづくり参加について (1) 8 月 24 日に開催された「高校生議会」の取組や学生の発想から、今後のまちづくりの企画や会議に学生参加を導入する考えはないか。	市 長・教育長 市 長・教育長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
4 日置 友幸	1 児童生徒の多様な居場所確保について (1) 令和8年第3回市議会定例会において、フリースクール支援に関する請願が採択されたが、市は本請願について具体的にどのように対応していくか。 2 上水道の計画的更新について (1) 市は上水道の管路更新率の目標を当面の間は年0.5%としているが、これでは全ての管路を更新するのに200年かかる。年0.5%の目標達成は必須であり、更なる目標設定が必要であると考えますが、市の見解を問う。 3 市内3中学校の屋内運動場空調整備及び断熱化改修について (1) 市内3中学校の屋内運動場について、空調整備及び断熱化改修を年次的に実施していく考えはないか。 4 公共施設適正配置計画の現状と今後について (1) 公共施設適正配置計画の後期計画について、達成できる見込みが無いと判断した項目については、その時点で理由と今後の方針を市議会及び市民に公表する考えはないか。	市 長・教育長 市 長 市 長・教育長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
6 内園 知恵子	1 平和行政と市長の政治姿勢について (1)「平和を語り継ぐ都市」宣言を掲げる本市の長として、非核三原則の堅持と核兵器禁止条約への日本政府の批准について、どのように考えるか。 (2)被爆・戦後 80 年の節目を経た今、平和教育・平和発信の取組を次世代へどう継承していくか見解を問う。 2 高齢者の熱中症対策について (1)高齢者の熱中症について、市はこれまでどのような対策を講じ、今後どのようにしていく考えか。 (2)市営住宅に入居している高齢者の実態を問う。 3 ナフサ不足・価格高騰の市内業者への影響について (1)ナフサ不足・価格高騰に関して、市内の商工団体等の各種事業者からどのような声が寄せられているか。市は実態を把握しているか。 (2)影響を受けている中小事業者に対し、市としてどのような支援・対応を検討しているか。 4 高齢者の補聴器購入費助成について (1)令和 8 年第 3 回市議会定例会において、同僚議員の一般質問に対し、市長は「実現に向けて、早期に前向きに検討する」と答弁している。これは、実施を前提に踏み出すという意味にほかならないと考えるが、その認識で相違ないか。	市 長・教育長 市 長 市 長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
7 大倉野 忠浩	1 河川の抜本的な改修について (1) 2級河川改修は県の管轄だが、昨年8月の台風12号の被害を目の当たりにし、大谷川の抜本的な改修に対する住民の要望が強く寄せられている。河川がオーバーフローし、周辺の住宅地や道路に雨水が滞留することで被害が増大している状況であるが、県との間で大谷川の改修に対してどのような協議を行っているか。 (2) 県に対して、大谷川改修工事の早期の計画立案と迅速かつ抜本的な工事着手を強く求める考えはないか。 (3) 河川に流入する水路・市道等の改修は、市の管轄になると思うが、昨年だけでなくこれまで発生した大谷川関連の災害の原因をどう分析し、どのような対処を行ってきたか。また、今後はどのような計画で実施するつもりか。	市 長
8 角 貞己	1 ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）被害防止に向けた薬剤購入補助制度の導入について (1) 本市の水稻栽培において、ジャンボタニシによる食害が拡大し、高齢農家を中心に防除作業や費用負担が深刻化している。現行の自助努力中心の防除には限界があり、薬剤による防除効果や安全性も一定程度確認されていることから、農家負担軽減と被害抑制のための薬剤購入補助制度の導入に向け、市としての現状認識と今後の検討方針を問う。 2 職員異動周期と事務事業の検証・見直し体制について (1) 本市では、職員人事異動が概ね3年周期で行われ、組織の活性化や多様な経験の蓄積という利点がある一方、事務事業の検証・見直しが十分に行われにくいという課題があると考えるが、市としての現状認識と今後どのように改善に向けた取組を進めるのかを問う。	市 長

